

- ①社会生活に必要な国語についてその特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- ②社会生活における人との関わりの中で伝え合ふ力を高め、思考力や想像力を養う。
- ③言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

月	単元名	時数	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	朝のリレー	1	詩の特徴を生かして音読する。	速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。		音声の動きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	
	野原はうたう	2	詩の特徴を生かして音読する。	速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さ、情景や心情を表す表現に応じて、音読の工夫をしている。		音声の動きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	
	【書写】描写	1	「野原うたう」を丁寧に書き写す。	丁寧に書き写している。		学習課題に進んで書こうとしている。	
	声を届ける 書き留める 言葉を調べる 読けてみよう	4	音読・発表の仕方、ノートの書き方辞典、の使い方を理解する。	聞き手を意識して工夫している。線や矢印で情報を整理している。印象に残った言葉を書き留めている。	日常生活とこれまでに読んだ本の中から題材を決め、情報を整理している。	進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かしてまとめようとしている。	
	【書写】漢字を分解してみよう	2	筆使いのポイントを意識し、小学校で学習した点画を毛筆で書く。	点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。		進んで筆使いに注意し、学習課題に沿って書こうとしている。	
5	シンシユン	4	場面の展開に即し・登場人物の心情などについて、読み深める。	登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。	場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。	
	【聞く】情報を的確に聞き取る	1	情報を的確に聞き取る。	キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。	情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。	進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。	
	情報整理のレッスン 比較・分類	1	情報を整理する。	情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。		学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。	
	わかりやすく説明する	4	題材に沿い、情報を整理して文章を書く。	集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。	目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。	集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。	
	漢字1 漢字に親しよう1	1	漢字の組み立てを理解する。	漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	【書写】漢字の筆使い 楷書に調和する仮名	4	毛筆で「天地」などを書く。小筆で「いろは歌」を書く。	漢字の筆使いに注意して書いている。仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。		進んで筆使いに注意し、学習課題に沿って書こうとしている。	
	アイコンは大きな根?	2	情報を整理しながら、要旨を捉える。	本文中で比較がどのように使われているかを理解している。	「問い」と「答え」から中心的な部分と、筆者の主張を理解している。	文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、筆者の工夫を伝え合おうとしている。	
	ちょっと立ち止まって	3	情報を整理しながら、要旨を捉える。	筆者の主張と事例との関係を理解している。	序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。	進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	
	思考のレッスン1	1	説得力のある文章について考える。	説得力のある根拠や、意見と根拠の結びつきについて理解している。		学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。	
	話の構成を工夫しよう	4	話の構成を考えスピーチする。	声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。	聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。	話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチしようとしている。	
6	漢字に親しよう2	1	漢字についての知識を深める。	小学校で学習した漢字の熟語を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	文法への扉1	2	言葉のまとまりについて理解する。	文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。		単語の類別を理解するために積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。	
	情報を集めよう 情報を読み取る 情報を引用しよう	3	情報を得る方法、その引用の仕方を理解する。	グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。	調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。必要な情報に着目して要約し、内容を理解している。	引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	
	7	詩の世界 【書く】詩を作ろう	3	詩を鑑賞する。詩を創作する。	詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。	詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
	【書写】文字の大きさと配列	3	文字の大きさと配列を意識して、小筆で創作の詩を書く。	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。		進んで文字の大きさ、配列などについて考え、学習課題に沿って小筆で詩を書こうとしている。	
	比喩で広がる言葉の世界	2	分掌を読み、比喩について理解する。	文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。	各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。	進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。	
	言葉1	1	指示する語句の役割について理解する。	指示する語句と接続する語句の役割を理解している。		今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。	
	言葉を集めよう	1	語句の量を増やす必要性を理解する。	言葉を集め、似た意味の言葉や修飾する言葉を考え、伝えたいことに合う的確な言葉を探している。		今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに話や文章の中で使おうとしている。	
	読書を楽しむ	2	読書により、考えが広がることを理解する。夏休みに取り組む読書活動の準備をする。	さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。	文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。	
	本の中の中学生	2	作品を読む。	読書が、知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。	文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。	文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かめながら、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。	
		1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	定期テスト 小テスト ワークシート 発表 聞き取り 書写	定期テスト 課題 ワークシート	ノート 振り返りシート 提出物への取り組み方 授業での粘り強い態度		
9	大人になれなかった弟たち……	4	描写に注意し、登場人物の心情を捉える。	戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。	描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。	登場人物について、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。	
	星の花が降るころに	5	表現に注意しながら、作品を読む。	様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをととえているのか考えている。	場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。	進んで場面・描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	
	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	1	聞き方において工夫をする。	話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている	話し手のスピーチに耳を傾け、質問のしかたを工夫し、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。	進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。	
	項目を立てて書く 案内文を書く	2	情報を整理しながら、「案内文」を書く。	情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。	伝えたい事情・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。	集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。	
	【推敲】読み手の立場に立つ	1	「案内文」を推敲する。	正確でわかりやすい表現に書きかめている。	読み手の立場に立つて、伝える情報が正確にわかりやすく書かれているかなどを検討している。	粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。	
	行書の特徴	3	行書の特徴を理解する。	漢字の行書の特徴を理解している。		積極的に楷書と行書の違いを考え、学習課題に沿って行書の特徴を話し合おうとしている。	
	10	言葉2	2	方言と共通語の役割について理解する。	共通語と方言の役割や特徴について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
漢字2	1	漢字の「音」「訓」の理解を深める。	熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
【言葉】をもつ、シジュウカラ	4	文章の構成・展開を考え、文章を読み取る。	筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。	筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。		
思考のレッスン2	1	「原因」「結果」の関係について理解する。	原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。		
根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	5	資料を用い、説明する。	情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。	自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。自分の考えを裏づける資料やデータを選び、適切に用い、考察を導き出している。	文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。		
漢字に親しよう3	1	漢字についての知識を深める。	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
【話し合い】話し合いの展開を捉える	1	情報と情報の関係を理解する	「上達のポイント」を理解している。		話題や展開を捉えながら話し合うために気をつけることを理解し、課題に沿って発言内容を考えている。		
11	【書写】丸み・点画の連続、点画の変化	2	毛筆、硬筆で課題を書く。	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。		進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	

	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッション	4	話題や展開を捉え、互いの発言を結び付け、話し合う。	自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。	話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。	積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見直しをもってグループ・ディスカッションしようとしている。
	音読を楽しもう 大阿蘇	1	朗読を楽しむ。	詩の言葉がどのように使われているかを考え、朗読をしている。	繰り返しの表現や繰り返しながら変化している表現などに着目しながら考えている。	進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	音読を楽しもう いはは歌 古典の世界	1	「古典」のまじりを意識して音読する。	言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。	古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。	古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。
	建築の玉の枝―「行取物語」から	5	「古典」のまじりを理解し音読する。物語の世界を想像する。	音読に必要な文語のまじり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。	「建築の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代に共通する部分を考えている。	進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。
	今に生きる言葉【書く】 故事成語を使って体験文を書く	2	「故事成語」を理解し、それを使って体験文を書く。	音読に必要な文語のまじり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。	故事成語の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。故事成語と自分の体験を重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。	積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
12	「不便」の価値を見つめる【書く】 根拠を明確にして、意見をまとめよう	4	筆者の考えを要約する。根拠を明確にして、意見をまとめる。	意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。	目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。	積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。
	助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く	2	作品を選び、書評を書く。	書評を書き、助言し合う活動を通して、読書の意義を理解している。	読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見つけている。	読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。
	漢字に親しもう 4	1	漢字についての知識を深める。	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉 2	2	文節どうしの関係を理解する。	「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。		単語の類別を理解するために、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
	考える人になろう 若たちはどう生きるか たのしい制約 読書案内 本の世界を広げよう	1	筆者の考え方を読み取る。年表に読む本を選ぶ。	読書の意義（＝読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりするために役立つこと）を理解している。	筆者のものの見方や考え方が表れている部分に線を引き、考えたことをグループで発表し合う活動を通して、自分の理解を確認なものとしている。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
	【書く】 書き初め	4	「書き初め」課題に取り組む。	今までの学習を生かして「書き初め」の課題に取り組む。		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして積極的に語感を磨き言語文化を大切にしようとしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	定期テスト 小テスト ワークシート 発表 聞き取り 書写	定期テスト 課題 ワークシート	ノート 振り返りシート 提出物への取り組み方 授業での粘り強い態度
1	少年の日の思い出【書く】 別の人物の視点から文章を書き換えよう	7	構成や展開、表現の効果を読み、物語を読む。	場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。	時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見直しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
	漢字に親しもう 5	1	漢字についての知識を深める。	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉 3	2	「単語」の性質を理解する。	「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
	随筆二編	2	随筆を読む。	「空の描写」や「父親とのやりとり」がどのように表現されているかを理解している。	場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いを捉えている。	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
2	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	4	体験や思いを伝える随筆を書く。	体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を選択的に選んで使っている。	読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。書きだしや結び、出来事、言葉、興味、描写を工夫して書いている。	粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見直しをもって随筆を書こうとしている。
	言葉 3	2	表現方法を理解する。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。		積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
	漢字 3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう 6	1	漢字の成り立ちについて理解する。	漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	季節のしおり 1	1	季節にまつわる詩歌や言葉を毛筆、硬筆で書く。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。		積極的に、習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉を書こうとしている。
3	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	4	観点を決め、学習を振り返る。	声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくフリップにまとめている。	聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。「観点」に見合った情報を集め整理し、内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。	集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。
	さくらの はなびら	1	詩を読む。	詩に用いられている表現の技法を理解し使っている。	詩の解釈を通して理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものとしている。	文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。
	学習を振り返ろう	2		・曲名と歌の1節を引用する方法を理解している。 ・課題にある方言の例を読み、共通語と方言の果たす役割について理解している。	温暖化による流水の減少が、環境に与える影響について、劇作家・舞台の観測記録からわかった事実を二つに分けて書いている。「……という警告。」で終わる形になるように、筆者の示した情報と自分の考えを結び付けて書いている。話すときは、聞き手の反応を踏まえて、伝えたいことが伝わるように表現を工夫している。卒業式で歌ったり聞いたりしたい歌について、自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠となる事例を挙げて文章を書いている。	今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	定期テスト 小テスト ワークシート 発表 聞き取り 書写	定期テスト 課題 ワークシート	ノート 振り返りシート 提出物への取り組み方 授業での粘り強い態度

国語（2年） R5 年間指導・評価計画

教科の目標

- ①社会生活に必要な国語についてその特質を理解し適切に使うことができるようになる。
- ②社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ③言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力

月	単元名	時数	学習内容	観点別評価規準（%数値は5段階評定への配分割合）		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	見えないだけ	1	1好きな言葉や表現を発表する。 2詩の特徴を生かして朗読する。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	アイズプラネット	5	1「ぐうちゃん」について整理する。 2「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いを読み取る。 3「ぐうちゃん」に対する自分の思いをまとめる。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。	積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	問いを立てながら聞く	1	1「友達の問題」を読み、要点をメモする。 2メモを基に、意見や根拠について検討する。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。
	点面の省略	3	1 楷書と行書で書かれた「雲」を比較しする。 3 点面の省略を意識して、毛筆で「雲海」を書く。	漢字の行書の書き方（点面の省略）を理解して、読みやすくなるように書いている。	（毛筆で「雲海」を書くなかで、行書の書き方<点面の省略>を確かめている。）	進んで①行書の書き方（点面の省略）を理解し③、学習課題に沿って②「雲海」を書こうとしている④。

5	枕草子	3	1「枕草子」を朗読し、古文を読み味わう。 2作者のものの見方や感じ方を読み取る。	現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。	
	情報整理のレッスン 思考の視覚化	1	1教材文を読み、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。		】学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。	
	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	5	1調べる職業を決め、情報を集める。 2集めた情報を分類・整理する。 3紙面構成を考える。 4下書きをして、推敲し、清書する。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見直しをもって職業ガイドを作ろうとしている。	
	漢字1 熟語の構成 漢字に親しよう1	1	1教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字記当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
筆順の変化	3	1楷書と行書で書かれた「紅」「花」「祝」を比較する。 2筆順の変化を意識して、毛筆で「紅花」を書く。	漢字の行書の書き方（筆順の変化）を理解して、読みやすく速く書いている。	(毛筆で「紅花」を書くなかで、行書の書き方<筆順の変化>を確かめている。)	進んで(①)行書の書き方（筆順の変化）を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「紅花」を書こうとしている(④)。		
6	クマゼミ増加の原因を探る	4	1全体と部分の関係に注意して、構成を捉える。 2文章と図表の関係に注意して、内容を読み取る。 3考えたことを話し合う。	話や文章の構成や展開について理解を深めている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。	積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見直しをもって考えたことを話し合おうとしている。	
	思考のレッスン1 具体と抽象	1	1教材文を読み、具体と抽象の概念を理解する。 2問題1、2に取り組む。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。		学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。	
	魅力的な提案をしよう プレゼンテーションをする	5	1提案内容を決めて、情報を集める。 2効果的な話の構成を考える。 3プレゼンテーションをする。 4プレゼンテーションを振り返り、よかった点や改善点を考える。	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)フ →相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見直しをもってプレゼンテーションをしようとしている。	
	漢字に親しよう2	1	1新出漢字を確認する。 2練習問題に取り組む。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字記当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	文法への扉1 単語をどう分ける？	2	1自立語の各品詞の性質などについて理解する。 2「話すこと・書くことに生かす」を読み、ここでの学習を今後の学習に生かせるようにする。	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。	
	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	3	1メディアを比べて、特徴を理解する。 2目的や状況に応じたメディアの選び方を考える。 3情報の受け取りときの留意点を考える。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。	粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。	
7	短歌に親しよう 短歌を味わう	4	1短歌についてまとめる。 2「短歌を味わう」を読み、内容や表現のしかたについて感じたことを話し合う。 3「短歌を作ろう」に取り組む。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えている。「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。	進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見直しをもって短歌を創作しようとしている。	
	言葉の力	2	1文章を要約して、内容を捉える。 2筆者の考え方について話し合う。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
	言葉1 類義語・対義語・多義語	2	1教材文を読み、類義語・対義語・多義語について理解する。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。	
	言葉を比べよう もっと「伝わる」表現を目指して	1	1言葉を分類して、類義語を集める。 2類義語を比較し、わかったことを話し合う。 3「対義語を考える」に取り組む。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。	
	読書を楽しむ	1	1教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。		本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。	
	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま	1	1二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べる。 2翻訳や外国文学について知る。 「星の王子さま」や読書コラムを読む。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。	進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。	
	行書に調和する仮名(いろは歌)	3	1行書に調和した仮名に表れる点画の特徴を理解する。 2行書に調和した仮名の特徴を意識して、小筆で「いろは歌」を書く。	行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	(小筆で「いろは歌」を書くなかで、行書に調和した仮名の書き方を確かめている。)	進んで(①)行書に調和した仮名の書き方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「いろは歌」を書こうとしている(④)。	
		53	1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	定期テスト 書写	定期テスト 作文・作文の発表	ノート・ワークシート 宿題・課題の提出状況 授業観察	
	8 9	益土産	5	1作品の構成を捉える。 2登場人物の言動の意味を考える。 3自分が捉えた作品の印象を伝え合う。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	】粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。
	字のない読書	3	1二つの思い出を整理する。 2表現に着目して、人柄や心情について読み取る。 3父親に対する「私」の思いについて考える。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。	進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	1	1インタビューの準備をする。 2インタビューを行う。	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。	「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。		

表現を工夫して書く 手紙や電子メールを書く	3 1 手紙と電子メールを比較し、活用場面を考える。 2 伝えたい内容を決め、通信手段を選ぶ。 3 手紙や電子メールを書く。	言葉には、相手の行動を促す動きがあることに気づいている。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書くようにしている。
[推敲]表現の効果を考える	1 木本さんの手紙の下書きを読み、適切な文字や表記を書き改める。	書いた文章を推敲し、言葉の使い方や表記に誤りがない文章にしている。	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。
言葉2 敬語	1 敬語の使い方について考える。 2 敬語の動きや種類について理解する。	敬語の動きについて理解し、話や文章の中で使っている。		今までの学習を生かして、積極的に敬語の動きについて理解しようとしている。
漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	1 同じ訓をもつ漢字の使い分けについて理解する。 2 同音異義語の使い分けについて理解する。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。
行書と仮名の調和	3 1 行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを確認する。 2 行書と仮名の調和を意識して、毛筆で「豊かな心」「深まる秋」を書く。	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	(毛筆で「豊かな心」「深まる秋」を書くなかで、行書に仮名を調和させるための書き方を確かめている。)	進んで①行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し③、学習課題に沿って②「豊かな心」「深まる秋」を書くようにしている。
10 モアイは語る ―地球の未来	4 1 文章の構成に着目し、内容を捉える。 2 論理の展開を吟味する。 3 筆者の主張に対する考えを文章にまとめる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。	粘り強く論理の展開について考え、学習の見直しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
思考のレッスン2 根拠の吟味	1 教材文を読み、根拠を吟味する方法を理解する。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
根拠の適切さを考えよう 意見文を書く	4 1 社会生活の中から課題を決める。 2 友達どうして整理した内容を見せ合い、助言し合う。 3 賛成・反対の立場を決め、意見を支える根拠を考える。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見直しをもって意見文を書くようにしている。
漢字に親しもう4	1 新出漢字を確認する。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
[討論]異なる立場から考える	1 テーマに沿って集められた①～⑧の事実を読む。 2 賛成・反対それぞれの立場の人が、①～⑧を基にどんな意見を述べるのかを考える。 ・一つの情報が、賛成・反対どちらの根拠にもなり得ることを理解する。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。
立場を尊重して話し合う 討論で多角的に検討する	4 1 討論のテーマを決め、情報を集める。 2 立場を決めて、考えをまとめる。 3 グループで討論する。 4 討論を振り返る。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見直しをもって討論しようとしている。
11 音読を楽しもう 月夜の浜辺	1 詩を声に出して読む。 2 表現に着目し、その効果について考える。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、詩の構成や表現の効果について考えている。	進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。
源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語	1 「平家物語」の概要と文章の特徴を知る。 2 冒頭部分を音読し、独特の調子とリズム、言葉の響きを味わう。 3 「平家物語」を貫く「無常観」のイメージをもつ。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。		進んで古典に表れたもの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。
語的 ―「平家物語」から	4 「平家物語」の冒頭部分と「語的」を繰り返し朗読する。 2 登場人物の言動から、心情を考える。 3 読み取ったことを基に自分の考えを述べる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
仁和寺にある法師―「徒然草」から	3 「徒然草」の冒頭部分と「仁和寺にある法師」の原文を朗読する。(学習①) 2 本文を読み、内容をまとめる。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見直しをもって登場人物について論じる文章を書くようにしている。
漢詩の風景	3 漢詩の特徴を生かして朗読する。 2 解説を手がかりに、漢詩を読み味わう。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。	進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。
12 君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ	4 「君は『最後の晩餐』を知っているか」の内容を捉える。 2 文章を比較して、構成や表現の特徴を捉える。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。	粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。
魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	2 1 作品を鑑賞する。 2 表現の効果を考える。 3 鑑賞文を書く。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書くようにしている。
漢字に親しもう5	1 新出漢字を確認する。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ	2 1 動詞の活用について理解する。 2 形容詞・形容動詞の活用について理解する。	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。
研究の現場ようこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃 クモの糸でバイオリン 読書案内 本の世界を広げよう	1 「研究の現場ようこそ」を通読する。 2 「クモの糸でバイオリン」を通読する。 3 感想を伝え合う。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。

	楷書と行書の使い分け	5	1 それぞれ楷書と行書のどちらで書くことが適しているかを考える。 2 相手や目的に応じて楷書と行書を使い分けが必要があることを理解する。	目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。	目的や必要に応じて書体を選択して書くことの必要性を確かめている。	進んで①)書体を選択して書く必要性を理解し③)、学習課題に沿って②)適切な書体を選んで書くこととしている④)。
		60	2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	定期テスト 書写	定期テスト 作文・作文の発表	ノート・ワークシート 宿題・課題の提出状況 授業観察
1	走れメロス	7	1 作品の設定と構成を押さえる。 2 場面の展開に即して人物像を読み取る。 3 作品の魅力をまとめ、語り合う。	】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。	粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。
	漢字に親しよう6	1	1 新出漢字を確認する。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉3 一字違いで大違い	2	1 助動詞の働きについて理解する。 2 助詞を読み、助詞の種類と働きについて理解する。	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。		今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
2	構成や展開を工夫し書こう 「ある日の自分」の物語を書く	5	1 これまでに学習してきた物語や小説を振り返る。 2 生活を振り返り、取り上げたい「ある日」を選び、構成や展開を工夫して物語を書く。	話や文章の構成や展開について理解を深めている。	「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。	粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
	言葉3 話し言葉と書き言葉	2	1 話し言葉と書き言葉の違いについて考える。 2 同音異義語の伝え方を理解する。	話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
	漢字3 送り仮名	2	1 送り仮名の付け方の基本原則と例外について理解する。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。
3	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	6	1 グループで話し合い、壁新聞のテーマを決める。 2 壁新聞の内容を話し合う。 3 壁新聞を作る。	話や文章の構成や展開について理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。
	木	2	1 詩の中の印象に残った表現を挙げ、どんな印象を受けたかを話し合う。 2 表現の意味を考える。 3 作者のものの見方について語り合う。	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合うこととしている。
		27	3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	定期テスト 書写	定期テスト 作文・作文の発表	ノート・ワークシート 宿題・課題の提出状況 授業観察

国語（3年） R5 年間指導・評価計画

教科の目標

- ①社会生活に必要な国語についてその特質を理解し適切に使うことができるようになる。
- ②社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ③言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力

月	単元名	時数	学習内容	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	世界はうつくしいと	2	詩の特徴を生かして朗読し、詩を読み深める。 詩をていねいに書き写す。(書写)	1. 詩の特徴を生かして朗読している。 2. 詩に用いられている語句や表現に着目して内容を考えている。 3. 詩をていねいに写している。	1. 自分なりの解釈を自分の言葉でまとめている。	
	「評価しながら聞く」	1	ベットの起案する討論会の一部を評価しながら聞く練習をする。	登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。	1. 「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。 2. 登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。	粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
5	学びて時に之を習ふ〜論語から	5	論語を読み、訓読の方法を確認するとともに孔子の言葉を理解する。	1. 論語を知る。 2. 歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。	孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。	人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	情報の信頼性	1	メディアが伝える情報の扱い方を学ぶ。	情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。		学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。
	熟語の読み方	1	さまざまな熟語の読み方について理解する。	漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	作られた「物語」を超えて	5	文章を読んで、筆者の主張と論理の展開を捉える。	ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。	論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開を捉えている。	進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて学び、今後の文章の書き方に生かそうとしている。
6	思考のレッスン	1	具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたについて理解する。	具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。		具体と抽象の関係についても積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。
	スピーチで社会に思いを届ける	4	リオの伝説のスピーチを読み、社会で起きている出来事や問題の中で伝えたいと思ったことを選び、話題にする。	情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切か確認して、必要な情報を集めている。	話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいる。	相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。
	漢字に親しよう	1	第2学年までに学習した常用漢字を中心に使い慣れる。	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉1	1	2年で学習した文法を思い出す。(助詞、助動詞、文の成分)	既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解している。		助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
	実用な文章を読もう(報道文の比較)	2	実用な文章を読み、実生活への生かし方を考える。	実用な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信時・発信目的を確認している。	事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。	積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。
7	俳句の可能性	5	俳句の約束ごとを知るとともに俳句に詠まれている情景を想像し、鑑賞文を書く。	俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。	語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。	進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたりしようとしている。
		2	俳句を創作し、清書する。(書写)	自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。	自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。	俳句を創作し、筆ペンを使い楽しみながら作品を完成させている。
	言葉を選ぼう 和語・漢語・外来語	1	言葉について知識を深める	言葉を使い分けるときを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けられている。
	読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう	2	図書館も利用しながら、夏休みに読む本を見つけ、紹介する準備をする。	さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見している。	登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評にまとめている。	読書進んでの意義と効用について理解し、見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	定期テスト 発表 聞き取り用紙	定期テスト 作品提出 ワークシート	ノート 振り返りシート 提出物への取り組み方 授業での粘り強い態度

8	挨拶 原爆の写真によせて	2	詩を読み、考えたことを伝え合う。	比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。	1. 詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。 2. 作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。	詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
9	故郷	5	作品を読んで場面や登場人物に着目し、読み取る	さまざまな語句を学習し、語彙力を広げている。	1. 自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを考えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。 2. 「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。	粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして、自分の考えをまとめたりしようとしている。
	聞き上手になろう	1	対談を行う中江で話し手、聞き手、聴衆役を演じる。	話し手や聞き手が、対談の中で、適切な言葉遣いをしている。	自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。	粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。
	「推敲」論理の展開を考える	1	「事実と意見」「具体と抽象」を意識して推敲する。	既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。	課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。	粘り強く、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。
	慣用句・ことわざ・故事成語	2	慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。	慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。		積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。
10	漢字の造語力	1	「漢字に親しもう」の問題に取り組む	漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	人工知能との未来	4	文章の要旨をとらえ、自分の考えを広げよう	自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。	1. 二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合っている。 2. 自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。	積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
	説得力のある批評文を書く	3	関心のある事柄や気になった事柄について文章を書き、推敲して仕上げる。	具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。	自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を見通しをまとめている。	粘り強く表現のしかたを考えた資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
	漢字に親しもう	1	新出漢字を確認する	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れていく。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
11	話し合いを効果的に進める	1	話し合いを効果的に進めるために注意することを学ぶ。	全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。	話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。	積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。
	合意形成に向けて話し合おう	4	課題解決のために会議を開く練習をする。	複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。	提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。	合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
	音読を楽しむ 「初恋」	2	言葉の響きやリズムを味わいながら作品を朗読する。 工夫して詩を視写する。(書写)	言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。	文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。	進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。
	和歌の世界 古今和歌集仮名序	1	和歌にどのような思いがこめられているかを知る。	「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。		進んで和歌の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
12	君待つと 万葉・古今・新古今	5	和歌を音読し、表現技法などを学ぶことで、和歌の世界を味わう。	三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。	心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをまとめている。	進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見直しをもって鑑賞文を書こうとしている。
	夏草 「おくのほそ道」	5	おくの細道を学習し、芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。	作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。	芭蕉が見たものや感じたことを想像している。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。
12	古典名句・名言集	1	気に入った作品を朗読し、筆ペンなどで清書する。(書写)	1. 作者や作品の時代背景を知り、古典の名句・名言を朗読している。 2. 気に入った名句や名言を筆ペンで書いたり、それについて自分の考えを書いたりしている。		長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。
12	書き初め	4	書き初め作品を練習する。(書写)	今まで学習した知識・技能を生かして欠けている。		3年間で学習した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして作品を制作しようとしている。
	誰かの代わりに	5	筆者の考えについて自分の考えをまとめる。	抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。	文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。	今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて議論したり文章にまとめたりしようとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	定期テスト 発表 聞き取り用紙	定期テスト 作品提出 ワークシート	ノート 振り返りシート 提出物への取り組み方 授業での粘り強い態度
1	情報を読み取って文章を書く	2	グラフから情報を読み取り、小論文を書く。	具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。	資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。	論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。
	漢字のまとめ 漢字に親しもう 文法への扉	2 1	2、3年で学習した漢字を復習する。 「ない」の文法上の違いを理解する。	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れていく。 「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。
2	「エルサルバドルの少女」 「紛争地の看護婦」	1	二つの作品を読み比べ、登場人物の生き方について考えをもつ。	二つのノンフィクションを読み、読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気づいたりする。	文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をまとめている。	今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んだことをまとめようとしている。
	本の世界を広げよう	2	読んだ本や興味をもった本について語り合う。 本の紹介の掲示物を作成する。		読書を通して、考えたことや気づいたことをワークシートにまとめたり、「私のおすすめ」として紹介したりしている。	読書の意義と効用について理解し、友達と本についての考えについて語りあっている。
2	温かいスープ	2	筆者の考えを読み取り、「国際性」について自分の考えをもつ。	文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取っている。	自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えを200字程度にまとめている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	わたしを束ねないで	2	作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。	言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。	詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。	詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
3	漢字に親しもう	3	3年間の漢字の総まとめをする。	音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	学習を振り返ろう	4	読解の復習、スピーチの総まとめ、図表をもとに作文を書くの3つの分野の総まとめをする。	相手や場を意識して敬語を使ってスピーチしたり、説明文を書いたりしている。	1. 文章に表れているものの方、考え方と自分の考えを比較して、人間や社会について自分の考えを書いている。 2. 目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現のしかたを工夫している。	粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	定期テスト 発表 聞き取り用紙	定期テスト 作品提出 ワークシート	ノート 振り返りシート 提出物への取り組み方 授業での粘り強い態度